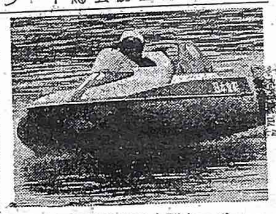
No.47

1987年(昭和62年)12月14日 月曜日

新スポーツ、若者は好奇の目

ホーバークラフト 雄物川で試走会開く

新しいスポーツ、レジャーとして若者の間で注目されてきた小型ホーバークラフトの試走会が仙北郡西仙北町刈和野の雄物川で、十二日から十四日まで開かれている。同町の全日本小型ホーバークラフト関連施設等誘致促進期成同盟会（佐藤好攻会長）が、小型機を開発した群馬県の企業や全日本小型ホーバークラフト協会とタイアップし、住民へのデモンストレーションとコース確認のため実施した。十三日は一人乗り、二人乗り各二艇が試走し、訪れた約五十人が珍しそうに見守った。



水面を試走する小型ホーバークラフト＝仙北郡西仙北町刈和野の雄物川で

ホーバークラフトは空気圧で浮上、推進する乗り物。雪や氷の上、草原、水上でも走れることから、同町の町興し委員会のメンバーが小型機に注目し、同協会やメーカーに視察を依頼した。その結果、同町内の雄物川や草原など小型機の走行に適しているとがわかった。メーカー側は、土地価格が安いことから生産工場建設の意向も示しているという。

そこで、西仙北町を小型ホーバークラフトのメッカにし、町興しを図ろうという町民有志十八人は試走会に先立ち、この十日、期成同盟会を結成した。来年三月には第一回全日本小型ホーバークラフト競技選手権大会を誘致し、将来は常設コースやライセンス学校、整備工場、生産工場など関連施設の誘致運動を繰り広げることにしている。

昭和62年（1987年）12月15日 火曜日

ホーバークラフト

見物客ひっきりなし

西仙北町

試走会、反響は上々

小型ホーバークラフトで町興しを図ろうと仙北郡西仙北町で旗上げした「全日本小型ホーバークラフト関連施設等誘致促進期成同盟会（佐藤好攻会長）」主催の小型ホーバークラフト試走会が、十二日から十四日までの三日間、同町刈和野の雄物川で行われ、約二百人が見学に訪れた。

ホーバークラフトは、エンジンで空気圧を起こし、その力で浮上、推進する乗り物。一人乗りから二人乗りの小型艇はレジャー、スポーツ用として、若者から注目されている。

試走会には一人乗り、二人乗りそれぞれ二艇ずつが参加。エンジン音を響かせて時速五十キロ近いスピードで水上を疾走したり、水上ダンスのように旋回したり。水陸両用とあって、水面から河川敷へと自由に走り回っていた。

三日間とも比較的穏やかな天候に恵まれたことから、会場の国道13号線わきの河原には見物に訪れる車がひっきりなし。中には、岩手県や大館市などからわざわざ来たという人もいて、同盟会ではまずまずの反響ぶりに意を強くしていた。

小型ホーバークラフトを珍しそうに見物する人たち

試走会には、小型ホーバークラフトの開発業者や全日本小型ホーバークラフト協会役員らも駆け付け、コースを点検。橋など障害物が少ないうえ、川から陸上にも比較的簡単に移動できることから「コースとしては好条件」と話していた。

同盟会でも、当面の目標である来年三月三日の全日本小型ホーバークラフト選手権大会の誘致に「大きく前進した」としている。

秋田魁新報
発行所
秋田魁新報社
秋田市大町一丁目2番6号
郵便番号 010
電話 大代表 62−1231
振替口座 秋田8-726
©秋田魁新報社 1987